

13119 社会福祉援助技術 a、b Social Welfare Aid Skills		2 年次～ 前期 2 単位																	
担当者	安藤 みゆき	履修可能学科	Pc																
		関連資格	保育必・福祉主(P c)																
サブタイトル	保育士に必要な社会福祉援助技術の理解																		
授業内容 ・ ねらい	<p>虐待や発達障害といった困難な問題を抱える子どもたちが、少しでも安定した心理的基盤を築くために、保育士の存在は重要である。</p> <p>援助が必要な子どもたちに対して、日々の保育実践に心を砕くのはもとより、その子どもの環境を調整していくこともまた、保育士に求められる仕事である。</p> <p>本授業では、子ども虐待など様々な困難なケースについて、その背景や援助の方法、関係機関との連携のあり方などを社会福祉の観点から学ぶことを目的とする。</p>																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 保育士がなぜ社会福祉援助技術を学ぶのか</td> <td>8. 集団援助技術（グループワーク）の意義と機能</td> </tr> <tr> <td>2. 社会福祉援助技術の意義と内容</td> <td>9. 集団援助技術の発展過程</td> </tr> <tr> <td>3. 社会福祉援助技術の体系</td> <td>10. 集団援助技術の援助媒体</td> </tr> <tr> <td>4. 個別援助技術（ケースワーク）の概要</td> <td>11. 集団援助技術の展開過程</td> </tr> <tr> <td>5. 個別援助技術の展開過程</td> <td>12. 児童福祉場面における集団援助技術</td> </tr> <tr> <td>6. 個別援助技術の事例演習（1）</td> <td>13. 地域援助技術について</td> </tr> <tr> <td>7. 個別援助技術の事例演習（2）</td> <td>14. その他の間接援助技術について</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15. 関連援助技術についておよび総まとめ</td> </tr> </table>			1. 保育士がなぜ社会福祉援助技術を学ぶのか	8. 集団援助技術（グループワーク）の意義と機能	2. 社会福祉援助技術の意義と内容	9. 集団援助技術の発展過程	3. 社会福祉援助技術の体系	10. 集団援助技術の援助媒体	4. 個別援助技術（ケースワーク）の概要	11. 集団援助技術の展開過程	5. 個別援助技術の展開過程	12. 児童福祉場面における集団援助技術	6. 個別援助技術の事例演習（1）	13. 地域援助技術について	7. 個別援助技術の事例演習（2）	14. その他の間接援助技術について		15. 関連援助技術についておよび総まとめ
1. 保育士がなぜ社会福祉援助技術を学ぶのか	8. 集団援助技術（グループワーク）の意義と機能																		
2. 社会福祉援助技術の意義と内容	9. 集団援助技術の発展過程																		
3. 社会福祉援助技術の体系	10. 集団援助技術の援助媒体																		
4. 個別援助技術（ケースワーク）の概要	11. 集団援助技術の展開過程																		
5. 個別援助技術の展開過程	12. 児童福祉場面における集団援助技術																		
6. 個別援助技術の事例演習（1）	13. 地域援助技術について																		
7. 個別援助技術の事例演習（2）	14. その他の間接援助技術について																		
	15. 関連援助技術についておよび総まとめ																		
教科書 参考書	教）小林育子・大嶋恭二・神里博武著『社会福祉援助技術』（ミネルヴァ書房）																		
評価方法	学期末試験、提出ノート・レポート、授業中のグループ発表内容を総合して評価する。																		
事前準備学習 履修条件等																			